

## イダン・ライヒエル来日

### イスラエル文化の申し子 最高のポップスターと讃えられる音楽家

文●サラーム海上  
text by UNAGAMI SALAM

Photo by Eldad Rafaeli

2015年12月、イスラエルのシンガーソングライター／プロデューサー、イダン・ライヒエル率いる「イダン・ライヒエル・プロジェクト」が来日を果たし、初の日本全国8ヶ所公演を行う。

僕はイダン・ライヒエルはインドのA.R.ラフマーンと並び、21世紀の世界を代表する作曲家であると思つていて。かつてのジョン・レノン＆ボール・マッカートニーやアントニオ・カルロス・ジョビンに相当するような国境や世代や思想を超えて愛される曲を書ける作曲家の一人だと。

イスラエルは世界約70ヶ国から集まつたユダヤ人が築いた移民国家。東ヨーロッパ、中東、エチオピア、北アフリカ、ロシア、中央アジア、アメリカ、西ヨーロッパなどからの移民文化が、東地中海に面した四国四県を足したほどの小さな土地の中で隣り合ひ、共存し、独自の現代文化を創り上げている。イダンはこうしたイスラエル文化の申し子と言える。

僕はイスラエル生まれで、両親もイスラエル生まれ。曾祖父はロシアからの移民、二人の祖母はボーランドとドイツからの移民だった

幼少時からアコーディオンとピアノを学び、国民の義務である兵役期間に軍樂隊でアレンジを学んだ。そして退役後は、イスラエルに移住してきたばかりの新移民の子ども向けの学校で音樂を教え、そこでエチオピア音樂と出会った。そして、自宅スタジオにエチオピア、イエメン、モロッコ、

# THE IDAN RAJCHEL PROJECT

インド、ロシアなど様々な出自を持つ音楽家を招き、彼らとともにイダン・ライヒエル・プロジェクトを発足させた。

2002年、イダン・ライヒエル・プロジェクトの曲「Bo'ee (Come With Me)」がイスラエルで大ヒットとなつた。この曲はエチオピア移民の歌手をフィーチャーし、アムハラ語で歌われていた。

「当時、ラジオではヘブライ語の歌と英語以外の歌しか流れていなかつた。でも、一日町に出れば、至る所から（移民が話す）世界



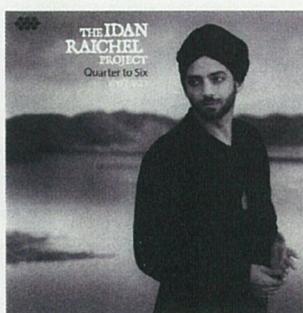
② ウィズイン・マイ・ウォールズ  
(CD : CBR-220 サンビニヤ)

1st. の成功によって世界中で演奏活動を始めた彼が、様々な国々の歌手／音楽家たちとコンサート会場の樂屋やホテルの部屋で録音した素材を元に、イスラエルに戻り、オーケストラまで導入して作り上げた 09 年の世界向け第二作（本国では 3rd.）。コロンビアのマルタ・ゴメスやカーボベルデのマイラ・アンドラーデをはじめとする 9 人の歌手が、それぞれに異なる言語で歌っているが、どの曲にもイダンらしいメランコリーが織り込まれている。



① ジ・イダン・ライヒエル・プロジェクト  
(CD : CBR-336 サンビニヤ)

自宅スタジオで 70 人を超える音楽家たちとともに作り上げた 02 年の 1st.、および 05 年の 2nd. から選曲された 12 曲を収録した全世界向けデビューアルバム。エチオピア移民の歌手親子が囁く御詠歌のような民謡、イエメンのユダヤ教典礼歌、ジャマイカのトースティングなどを取り入れながらもイダン独自の哀愁の旋律は既に出来上がっている。打ち込み中心の宅録サウンドにはさすがに時代を感じるが、今の彼には望めないパーソナルで初々しい音とも言える。



④ クウォーター・トゥ・シックス  
(CD : CBR-23093 サンビニヤ)

「6 時 15 分前 = 人生の夕暮れ時」と題された 2013 年最新作は「異なる文化的背景の音楽家とのコラボ」というコンセプトはそのままに、アコースティックな音作りが中心となった。ポルトガル人ファド歌手のアナ・ハウラ、マリ人ギタリストのヴィユー・ファルカ・トゥーレらがフィーチャーされた全 16 曲はどれも美しく力強い。ドイツ人カウンターテナーのアンドレア・シヨルが歌うクリスマスソングはイスラエル史上初めてのドイツ語ヒット曲となつた。



③ Travelling Home  
(輸入盤、配信のみ)

2009 年から 2011 年の間に行われたイスラエル本国でのライブからセレクトされた 26 曲に、スタジオ録音の新曲やアコースティックバージョンなどの 12 曲を加えた三枚組。過去のヒット曲の緻密な音作りを、6 人の歌手を含む 30 余人編成の大所帯バンドが生々しく作り変えている。イダンはピアノを弾きながら、時に歌を歌う。時折り聞こえてくる客席の歓声や拍手の大きさに現地でのイダンの人気の高さが伺える。最新作とともに来日公演前に必聴の作品。

界中の言葉や音楽が聞こえていた。その時、なぜ僕たちは路上から聞こえるエチオピアやイエメン、モロッコの歌声を使わないのだろう？と自問したんだ。僕は彼らとともにレコーディングを始め、彼らは伝統楽器を演奏し、彼ら自身の言葉で歌つた。すると、ある日突然、ラジオからアムハラ語で歌う僕らの曲が流れ始めた。イスラエルのラジオで初めてヘブライ語と英語以外の言語が流れただんだ。僕らの曲がイスラエルの社会の声を変えたんだ。それこそ僕ら

がイスラエル国外でも人気が出た理由だと思う。僕らはまさにイスラエルの音楽を表現しているんだ」

その後、イダン・ライヒエル・プロジェクトはイスラエルならではの様々な文化的背景を持つ数々のヒット曲を生みだし、2002年の初アルバム『ジ・イダン・ライヒエル・プロジェクト』は国内でプラチナ・ディスクに輝いた。そして、イスラエル発のワールドミュージックのアーティストとして世界中で公演を行ひ始めた。その過程でコロンビアやマリ、ドイツやアメリカなど世界中の音楽家たちと共に演を重ねた。2008年作『ウィズイン・マイ・ウォールズ』や2013年『クウォーター・トゥ・シックス』にはそうした世界中の音楽家たちとの共作曲があつれている。

イダンの音楽には東ヨーロッパ、中東、エチオピア、地中海の要素が複雑に織りなされている。それでいて、どんな国籍の歌手がどんな言語で歌おうが、すぐに彼の曲だとわかる強い個性がある。

「僕のメロディーがユニークなのは世界中から集まつたイスラエル人のルーツ、それに現代の文化をミックスしたものだから。おかしなことに、僕の音楽はイスラエルではメインストリームと呼ばれるのに、海外に出た途端にワールドミュージックと呼ばれるんだ。僕にとつてワールドミュージックとは、そのミュージシャンが来た土地を想起させるサウンドトラックのことだ。僕は子供の頃、英語がわからないままにマイケル・ジャクソンの曲を楽しんだ。フランス語がわからなくなつた。マリのサリフ・ケイタやジャマイカ

# THE IDAN RAICHEL PROJECT



雑誌を読むイダン Photo by Unagami Salam



Photo by Unagami Salam

昨年10月のイダン・ライヒエル・プロジェクト初の日本公演は300人規模のビルボードライブ東京を会場に、一晩で二回コンサートが行われた。メンバーはピアノ／ヴォーカルのイダン、二人の女性歌手、ドラムス、ベース／ヴァイオリン、イスラエルを代表する木管楽器マエストロのエヤル・セラという6人編成だった。ユーチューブを検索すれば、イスラエル本国の野外スタジアムで数万人の観客を迎える、20人近くのミュージシャンを従えた大編成版イダン・ライヒエル・プロジェクトの演奏を観ることが出来る。それと比べると日本公演ははるかに小規模で、大編成ならではの緻

密なアレンジは味わえなかつた。だが、逆にピアノ・トリオ＋ヴォーカル＆木管楽器という小さな編成により、かえつてイダンが書くメロディーの美しさが浮かび上がる事になった。しかも、イスラエルやアメリカではないほどの至近距離で彼らの演奏を見て、彼ら自身が演奏を楽しんでいるのをしっかりと感じることが出来た。

その日、僕はリハーサルの段階からかけつけていたが、イダンたちはセットリストを作つておらず、その場で演奏する曲を決め、リハーサルでも次々と新しいアイディアを出し、曲の細部をアップデートしていくには驚いた。

「どんな時でも音楽を爆発させるのが重要なんだよ。だからその場で演奏する曲を決めている。僕たちはクラシック音楽のように規律に基づいた演奏をすることもできる。でも、時には音楽をさらに探求したくなる。特にお客様が受け入れて心を開いてくれた場合、何か新しいことをしたくならんだ」

今回の「イダン・ライヒエル・プロジェクト日本ツアー 2015」は現代のイスラエル文化を体現するイダンを身近に感じ、ニュースだけでは伝わらないイスラエルの一面を知れる絶好の機会となることだろう。

イダン・ライヒエル・プロジェクト 公演日程（2015年）	
12月 3日（木）	18:30 新潟テルサ
12月 4日（金）	18:30 藤沢市民会館
12月 7日（月）	18:30 神戸国際会館こくさいホール
12月 8日（火）	18:30 オリックス劇場
12月 10日（木）	18:30 日本特殊陶業市民会館フォレストホール
12月 11日（金）	18:30 文化バルク城陽プラムホール
12月 14日（月）	18:30 神奈川県民ホール
12月 15日（火）	18:30 中野サンプラザホール

入場料金：6,000円【税込】他  
公演に関するお問い合わせ：  
MIN-ON インフォメーションセンター Tel: 03-3226-9999  
HP <http://www.min-on.or.jp/>